

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」（天の意志に順い、人々の期待に応える）と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」（自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる）に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋2-6-8)に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拜命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は Juntendo Medical Journal:JMJ として)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の

院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・4 東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開設しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護婦取締(婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- ①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- ②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- ③平成19(2007)年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されま

した。

- ④平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- ⑤平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- ⑥平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- ⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。
- ⑧大学内に文部科学省 (文部省) などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として以下のセンター・研究所が設立されました。
 - (1) アトピー疾患研究センター
 - (2) 疾患モデル研究センター
 - (3) 老人性疾患病態・治療研究センター
 - (4) 環境医学研究所
 - (5) 感染制御科学研究センター
 - (6) スポーツ健康医科学研究所
 - (7) スポーツロジックセンター
 - (8) 国際交流センター
 - (9) ゲノム・再生医療センター
 - (10) 難病の診断と治療研究センター
 - (11) 静岡災害医学研究センター
 - (12) 女性スポーツ研究センター
 - (13) 先導的がん医療開発研究センター
- ⑨平成 26 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 年 4 月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、附属 6 病院合計で総病床数 3,286 床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。附属 6 病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校・国籍・性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、5 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2017 年 5 月 15 日 (創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24.11.大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25.4.同 開設。
		博士課程	昭和34.3.大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34.4.同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46.3.大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46.4.同 開設。 平成9.4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12.4.同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18.11.大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19.4.同 開設。 平成26.4.同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25.10.大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26.4.同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.（財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21.5.（財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26.2.（学）順天堂医科大学認可。 昭和26.6.順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27.2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27.4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26.6.体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育専攻）開設。 昭和46.1.体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成5.4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29.10.順天堂醫院看護婦養成所開設。 昭和29.4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36.3.同高等看護婦学校開設。 昭和38.4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元.4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16.4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19.6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21.6.保健看護学部設置届出。 平成21.9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22.4.保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27.4.同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	577 床	静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	659 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山 560 番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	404 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,286 床	

※病床数は平成29年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	代田 浩之	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21 世紀 COE プログラム	平成 15. 4. 1	平松 啓一
研究基盤センター	代田 浩之	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	代田 浩之	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	新井 一	—	平成 28. 4. 1	新井 一

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3							
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2 年	20	25	40	51	25 (20)	26 (20)	-	-	-	-
		博士課程	4 年	140	140	500	509	136 (140)	139 (120)	118 (120)	116 (120)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2 年	61	56	122	114	56 (61)	58 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	10	16	30	41	16 (10)	12 (10)	13 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2 年	15	22	30	43	22 (15)	21 (15)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	7	7	21	27	7 (7)	10 (7)	10 (7)	-	-	-
大学院 計			253	266	743	785	262 (253)	266 (233)	141 (137)	116 (120)	-	-	
学部	医学部 医学科		6 年	130	131	746	759	130 (130)	127 (127)	133 (124)	122 (124)	123 (121)	124 (120)
	スポーツ健康科学部			330	330	1,320	1,312	326 (330)	330 (330)	324 (330)	332 (330)	-	-
	スポーツ科学科		4 年	190	190	760	753	187 (190)	190 (190)	186 (190)	190 (190)	-	-
	スポーツマネジメント学科		4 年	70	70	280	279	70 (70)	69 (70)	68 (70)	72 (70)	-	-
	健康学科		4 年	70	70	280	280	69 (70)	71 (70)	70 (70)	70 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科		4 年	200	204	800	800	204 (200)	201 (200)	192 (200)	203 (200)	-	-
	保健看護学部 看護学科		4 年	120	121	480	489	121 (120)	124 (120)	125 (120)	119 (120)	-	-
	国際教養学部 国際教養学科		4 年	120	123	240	242	123 (120)	119 (120)	平成 27 年度開設		-	-
学部 計			900	909	3,586	3,602	904 (900)	901 (897)	774 (774)	776 (774)	123 (121)	124 (120)	

※1. 入学者欄は平成 28 年 4 月に入学した学生数

※2. 在籍者欄は平成 29 年 3 月 31 日における学生数

※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	新井 一	学長
	木南 英紀	学長特別補佐、国際教養学部長
	代田 浩之	医学部長、大学院医学研究科長
	内藤 久士	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	植木 純	医療看護学部長
	岡田 隆夫	保健看護学部長
	天野 篤	順天堂医院長
	三橋 直樹	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	高崎 芳成	順天堂越谷病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	特任教授
	梁井 皎	特任教授
青木 きよ子	大学院医療看護学研究科長	
多田 宏	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

〈選任条項順に記載〉

児島 邦明 吉田 幸洋 高橋 和久 稲田 英一 佐久間和彦 小川 薫 工藤 綾子
 細谷 芳三 幅下 貞美 島内 憲夫 長岡 功 吉村 雅文 高森 建二 富野康日己
 森近 浩 中澤 真逸 土屋 清子 佐藤 潔 濱野 光之 小川 秀興 新井 一
 天野 篤 内藤 久士 植木 純 代田 浩之 梁井 皎 多田 宏 佐藤 信紘
 岡田 隆夫 三橋 直樹 前田 稔 宮野 武 新井 平伊 石館 敬三 高崎 芳成
 津田 裕士 丸木 親 奥村 康 稲富 恵子 澤木 啓祐 木南 英紀 加納 實
 青木きよ子 (計 43名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士 (医科学) 博士 (医学)	代田 浩之
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	内藤 久士
	医療看護学研究科	修士 (看護学) 博士 (")	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	代田 浩之
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	内藤 久士
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	菅波 盛雄
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	黒須 充
	健康学科	学士 (健康学)	廣澤 正孝
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	植木 純
	保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡田 隆夫
国際教養学部 国際教養学科	学士 (国際教養学)	木南 英紀	

8. 教職員数

(1) 教員数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

学長
1

(単位：名)

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	182	12	47	2	41	3	287	141	428
(内訳)									
医学研究科	156	7	45	2	41	3	254	103	357
スポーツ健康科学研究科	14	4	1	0	0	0	19	11	30
医療看護学研究科	12	1	1	0	0	0	14	27	41
学 部	32	110	312	29	398	363	1,244	2,645	3,889
(内訳)									
医 学 部	5	81	276	9	348	354	1,073	2,315	3,388
スポーツ健康科学部	7	15	12	1	17	7	59	148	207
医療看護学部	0	6	12	7	21	2	48	72	120
保健看護学部	8	4	7	10	7	0	36	45	81
国際教養学部	12	4	5	2	5	0	28	65	93
合 計	214	122	359	31	439	366	1,531	2,786	4,317

※上記内、併任教員数

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	146	46	1	27	220
学部本務教員内 大学院併任教員	8	352	6	25	391

教員数合計(本務・併任合計)

	教員数
大学院	817
学 部	4,018

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
616	12	4,173	39	185	5,025

教職員合計
9,343

< 参考：平成 28 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 28 年度新規受入数) >

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
97 (46)	39 (19)	71 (36)	62 (32)	269 (133)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
新学術領域研究	新規	2	5	6,700	42,300	12,690
	継続	3		35,600		
基盤研究 (B) (一般)	新規	6	27	38,700	112,100	33,630
	継続	21		73,400		
基盤研究 (C) (一般)	新規	91	260	128,100	295,800	88,740
	継続	169		167,700		
挑戦的萌芽研究	新規	18	37	21,000	38,050	11,415
	継続	19		17,050		
若手研究 (A)	新規	0	1	0	4,300	1,290
	継続	1		4,300		
若手研究 (B)	新規	56	122	76,700	137,100	41,130
	継続	66		60,400		
特別研究員奨励費	新規	6	12	7,100	13,600	2,460
	継続	6		6,500		
研究活動スタート支援	新規	10	15	11,400	16,200	4,860
	継続	5		4,800		
国際共同研究加速基金	新規	2	5	22,200	31,500	9,450
	継続	3		9,300		
研究成果公開促進費	新規	1	1	1,500	1,500	450
	継続	0		0		
奨励研究	新規	8	8	4,200	4,200	0
	継続					
合 計	新規	200	493	317,600	696,650	206,115
	継続	293		379,050		

② 文部科学省：研究拠点形成費等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	96,784
合 計	1	96,784

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	1	12,606
合 計	1	12,606

④ 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (連携型)	1	9,000
合計	1	9,000

⑤ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 24 年度～ 平成 28 年度	感染制御科学研究センター 平松啓一 センター長 (特任教授)	薬剤耐性感染症の予防・治療のための新 技術開発に向けた研究基盤推進
平成 25 年度～ 平成 29 年度	環境医学研究所 高森建二 所長 (特任教授)	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・ 治療法開発の研究基盤構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	スポーツロジックセンター 綿田裕孝 センター長補佐 (教授)	骨格筋機能に着目した統合的な介護予防 法開発プロジェクト
平成 26 年度～ 平成 30 年度	ゲノム・再生医療センター 新井 一 センター長 (研究科長)	再生技術を用いた生活習慣病の次世代型 統合的研究基盤の構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	女性スポーツ研究センター 小笠原悦子 センター長 (教授)	女性スポーツ研究センターにおける女性 アスリートコンディション管理に関する 研究基盤構築
平成 27 年度～ 平成 31 年度	静岡災害医学研究センター 佐藤浩一 センター長 (教授)	大規模災害に対応する包括的医療提供体 制構築を目指す統合型研究拠点の形成

⑥ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
女性の健康の包括的支援政策研究事業	1	3,847	1,153
難治性疾患等政策研究事業	1	7,007	2,101
合計	2	10,854	3,254

⑦ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	2	62,710	18,810
合計	2	62,710	18,810

(2) 委託費

① 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：医療研究開発推進事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	41,540	12,460
再生医療実用化研究事業	2	70,256	36,157
長寿・障害総合研究事業	1	9,038	2,712
難治性疾患実用化研究事業	2	19,515	6,355
腎疾患実用化研究事業	1	12,608	7,282
感染症実用化研究事業	3	10,415	3,125
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	2	17,000	5,100
革新的先端研究開発支援事業	5	48,210	14,463
医療機器開発推進研究事業	1	15,231	4,569
医療分野研究成果展開事業	1	400	120
医薬品等規制調和・評価研究事業	1	4,117	2,883
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	2	39,650	3,965
オーダーメイド医療の実現プログラム	1	89,602	8,960
合計	23	377,582	108,151

② 国立研究開発法人科学技術振興機構

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	一般管理費(千円)
革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)	1	5,500	500
合計	1	5,500	500

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業

プログラム名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
社会技術研究開発 (RISTEX)	1	5,000	1,500
合計	1	5,000	1,500

④ 国立研究開発法人科学技術振興機構：研究成果展開事業

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
センターオブイノベーション (COI) プログラム	1	41,600	10,400
合計	1	41,600	10,400

⑤ (独) 環境再生保全機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
第10期 環境保健調査研究	1	5,400	540
合計	1	5,400	540

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	(株)ヤクルト本社	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教 授 綿田 裕孝
認知症診断・予防・治療学講座	日本メジフィジックス(株) エーザイ(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
神経変性疾患病態治療探索講座	大日本住友製薬(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
地域総合診療研究講座(越谷市)	埼玉県越谷市	医学研究科長 代田 浩之
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業(株)	医学研究科 免疫学 特任教授 奥村 康
運動障害疾患病態研究・治療 講座	日本メドトロニック(株) 協和発酵キリン(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) ボストン・サイエンティフィックジャパン(株) キッセイ薬品工業(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ(株) 日本ストライカー(株) (株)カネカメディックス	医学研究科 脳神経外科学 教 授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	(株)未来開拓総合企画	医学研究科 特任教授 内山 安男
電子医療情報管理学講座	富士通(株)	医学研究科長 代田 浩之
多発性嚢胞腎先進治療学講座	大塚製薬(株)	医学研究科 泌尿器外科学 教 授 堀江 重郎
多発性硬化症および神経難病 治療・研究講座	水素健康医学ラボ(株) (株)アビスト メロディアン(株) (株)健康家族 大和(株) バイオジェン・ジャパン(株) 田辺三菱製薬(株) バイエル薬品(株) 小野薬品工業(株) 日本製薬(株) 旭化成メディカル(株) (一社)日本血液製剤機構 MiZ(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
パーキンソン病病態解明研究 講座	大塚製薬(株) 山岸広太郎	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝

寄付講座名	寄付者	責任者等
ジェロントロジー ：医学・健康学応用講座	東急不動産(株)	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス(同) フクダ電子(株) レスメド(株)	医学研究科 循環器内科学 教授 代田 浩之
運動器・腫瘍性疾患病態学講座	中外製薬(株) サントリーウエルネス(株) 久光製薬(株) (株)大田胃酸 大正富山医薬品(株)	医学研究科 整形外科・運動器医学 教授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	(株)明治研究本部	医学研究科 免疫学 特任教授 奥村 康
社会性不妊治療学講座	千葉県浦安市	浦安病院 産婦人科 教授 吉田 幸洋
糖尿病治療標的探索医学講座	(非公開)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
国際医療研究学講座	(一社)体性幹細胞臨床研究会	医学研究科 総合診療科学 教授 内藤 俊夫

※責任者等の職制は、平成 29 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 共同研究講座

共同研究講座名	共同研究者	責任者等
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学研究科 病院管理学 教授 小林 弘幸
戦略的手術室改善マネジメント 講座	(株)ホギメディカル	医学研究科 心臓血管外科学 教授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス(株)	医学研究科 輸血・幹細胞制御学 教授 大坂 顯通

※責任者等の職制は、平成 29 年 3 月 31 日の現職を記載

12. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000	※4参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000	-
	スポーツ健康科学部		200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	※4参照
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000 ※2	-	1,850,000	※4参照
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	140,000 ※3	-	1,640,000	※4参照
	国際教養学部		300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	※4参照

※1 入学時のみ

※2 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途 350,000 円を加算

※3 2年次以降は 420,000 円

※4 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般A方式	60,000
	一般B方式	
	地域枠	
	センター・一般独自併用	40,000
	センター利用	
	国際臨床医・研究医枠	
スポーツ健康科学部	AO（一般選抜・教員志望選抜）	35,000
	AO（一般選抜・教員志望選抜セット出願）	55,000
	推薦（一般推薦、スポーツ推薦）	35,000
	一般推薦＋スポーツ推薦セット出願	55,000
	一般（1学科）（英語外部試験利用も同様）	35,000
	〃（2学科）（英語外部試験利用も同様）	50,000
	〃（3学科）（英語外部試験利用も同様）	65,000
	センター＋一般セット出願（1学科）	55,000
	〃（2学科）	65,000
	〃（3学科）	75,000
	センター利用A方式（センター型）	20,000
	〃 B方式（独自併用型）	30,000
	〃 C方式（面接型）	
〃 D方式（競技型）		

学部	試験形態	入学検定料	
医療看護学部	推薦・帰国生	30,000	
	一般	35,000	
	センター利用（前期）	25,000	
	センター利用（後期）	1/13 17時までの出願	15,000
		1/13 17時以降の出願	25,000
	併願（一般、センター利用）	55,000	
	〃（一般、センター・独自併用）		
	〃（センター利用、センター・独自併用）		
	〃（一般、センター利用、センター・独自併用）	70,000	
	保健看護学部	推薦	30,000
特別選抜			
一般			
センター利用		25,000	
併願（推薦、特別選抜）		50,000	
〃（一般、センター利用）			
〃（一般、センター独自併用）			
〃（一般、センター利用、センター独自併用）			
国際教養学部	特別（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、グローバル方式）	35,000	
	推薦		
	センター利用（前期、後期）	25,000	
	一般	35,000	

13. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

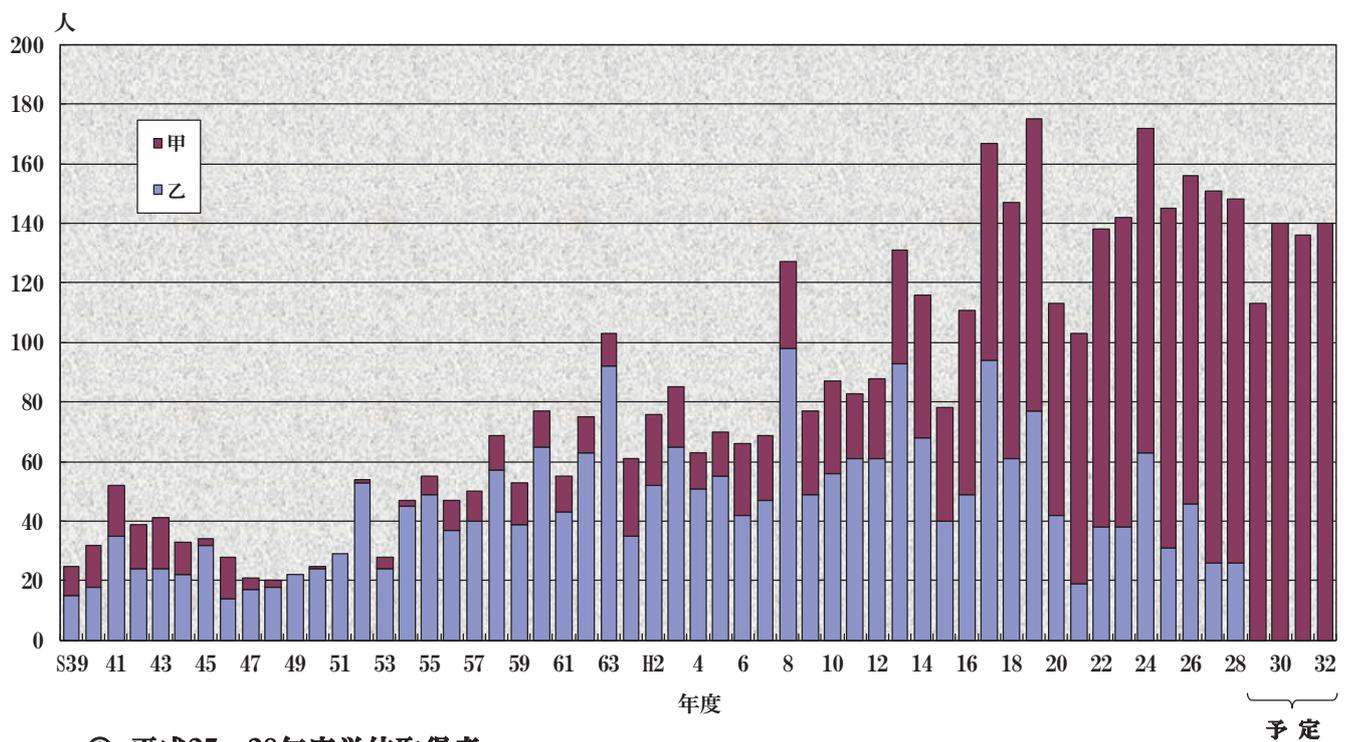
(単位:名)

区 分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	100	100	100	120	
” 入学者数 (”)	120	119	138	121	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	114	110	125	121	平成28年度 累計 《1,897》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	1	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	31	46	26	26	《2,394》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	-	20	20	20	
” 入学者数 (”)	-	31	22	27	
修士 (医科学) 学位記授与数	-	30	22	24	《76》

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

平成29年 3月

甲 1,897号 乙 2,394号 (計:4,291号)



◎ 平成25~28年度学位取得者

甲論文(英文95.5%) 平均IF ≒ 3.13

乙論文(英文86.8%) 平均IF ≒ 2.77

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
〃 入学者数 (〃)	7	9	8	13	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	2	6	8	8	《48》
満期退学後学位取得者数	1	2	1	0	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	4	3	3	3	《19》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数 (〃)	53	48	51	60	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	48	49	51	57	《975》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	-	-	-	7	
〃 入学者数 (〃)	-	-	-	11	
博士 (看護学) 甲 学位記授与数	-	-	-	7	《7》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	15	15	15	15	
〃 入学者数 (〃)	17	15	20	21	
修士 (看護学) 学位記授与数	14	14	18	20	《145》

14. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	90 (33)	111 (29)	108 (36)	123 (38)	医専卒 《319》 医科大卒 《89》 学部卒 《4,880》 累計 《5,288》
スポーツ健康科学部		322 (107)	323 (105)	323 (105)	332 (108)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《6,620》 累計 《11,827》
スポーツ科学科	スポーツ科学	188 (53)	185 (54)	186 (52)	190 (55)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	64 (25)	70 (25)	68 (27)	72 (27)	
健康学科	健康学	70 (29)	68 (26)	69 (26)	70 (26)	
医療看護学部 看護学科	看護学	194 (186)	197 (185)	196 (190)	202 (189)	講習所 《1,182》 看護学院 《29》 准看護婦学院 《132》 高等看護学校 《775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,793》 累計 《6,581》
保健看護学部 看護学科	看護学	114 (111)	118 (110)	120 (107)	119 (109)	累計 《471》

15. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学 研究科	博士 課程	大学・研究機関	61名	121名
			医療機関	40名	
			民間企業	5名	
			その他	15名	
		修士 課程	大学・研究機関	1名	24名
			医療機関	6名	
			民間企業	6名	
			進学	5名	
	スポーツ 健康科学 研究科	博士 後期 課程	教員・研究機関	5名	10名
			就職（民間企業・公務員等）	5名	
			その他	0名	
		博士 前期 課程	教員・研究機関	19名	57名
			就職（民間企業・公務員等）	23名	
			進学	9名	
			その他	6名	
		医療看護 学研究科	博士 後期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名
教員・研究機関	6名				
その他	0名				
博士 前期 課程	大学病院等医療機関・保健医療機関		11名	20名	
	教員・研究機関		3名		
	進学		2名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院群）	81名	123名	
		〃（他大学医学部附属病院群）	4名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院群）	33名		
		その他	5名		
	スポーツ 健康科学部	教員・研究機関	80名	332名	
		就職（民間企業・公務員等）	199名		
		進学	40名		
		その他	13名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	172名	202名	
		本学以外の医療機関	24名		
		進学	4名		
		その他	2名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院群	75名	119名	
		本学以外の医療機関	39名		
		進学	2名		
		その他	3名		

16. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

大学基準協会認証評価受審

平成 28 年 10 月、公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、同協会の大学基準に適合していると認定されました。認定期間は平成 29 年 4 月 1 日から平成 36 年 3 月 31 日までです。

難病の診断と治療研究センター内覧会

本学の豊富な臨床力を活用して、ゲノム医療、再生医療を通じて医療・医学の進歩に貢献する施設として、難病の診断と治療研究センターを開設しました。平成 28 年 7 月 27 日に内覧会を開催し、招待した有識者や本学研究者に内覧を頂き、内覧後に情報交換会を行いました。

地方自治体との協定の締結

平成 28 年 11 月 24 日、千葉県富里市と包括連携協定を締結しました。自治体との協定は 13 番目です。同市とはこれまで講師や学生ボランティアの派遣、健康増進事業等での協力等、様々な活動を展開してきましたが、今後もこれまでの連携実績を基盤に、包括的連携のもと、教育・研究・医療等の分野で相互に協力し、人材の育成と地域社会の発展に寄与することを目指します。

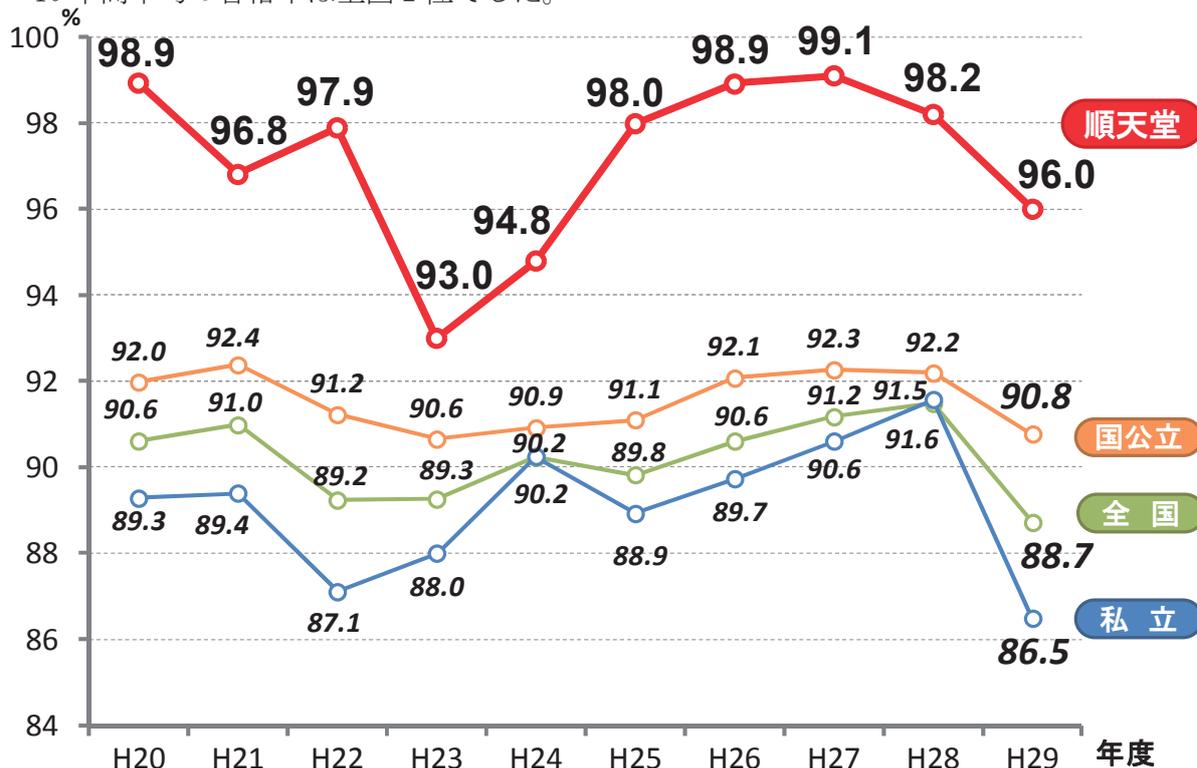
【大学院医学研究科・医学部】

国際基準に基づく医学教育分野別評価の受審

平成 28 年 6 月 14 日～17 日、日本医学教育評価機構（JACME；Japan Accreditation Council for Medical Education）による「医学教育分野別評価基準日本版 V1.30」に基づいた認証評価（国際認証評価）を受審しました。

医師国家試験合格率推移

今年度の第 111 回医師国家試験の合格率は 96.0% で全国国公立大学 80 校中 6 位、直近 10 年間平均の合格率は全国 2 位でした。



医学部の入学定員増

平成 28 年 7 月 21 日付、文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成 29 年度医学部入学定員の増加について」を受け、地域医療に貢献する医師養成の観点から、入学定員を 7 名増員する計画〔静岡県地域枠 5 名（新規）、埼玉県地域枠 2 名（追加）〕を申請し、平成 28 年 10 月 31 日付で認可されました。平成 29 年度から医学部入学定員は 130 名から 137 名に増員となります。

新入試方式「一般入学試験（B 方式）」の実施

平成 29 年度入学試験では「一般入学試験（B 方式）」を新設しました。一般入学試験（B 方式）は、国際性豊かな医師を志す学生を発掘することを目的とし、英語資格・検定試験『TOEFL(iBT, ITP, PBT), IELTS, 英検』の成績を利用することができる入試方式として実施しました。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

スポーツ健康科学部入学定員増

平成 28 年 3 月 31 日に 80 名（スポーツ科学科 60 名、スポーツマネジメント学科 10 名、健康学科 10 名）の入学定員増を申請し、平成 28 年 6 月 30 日付で認可されました。これにより、平成 29 年度から入学定員は 330 名から 410 名に増員となります。

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ 125 名（補欠合格・私学含む）が合格しました。うち現役生の合格者数は 46 名に達し、前年度を上回る合格者を輩出することが出来ました。企業就職志望者 173 名の就職内定率は、100%を達成しました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	99.0%	97.8%	100%
保健看護学部	95.1%	93.4%	—
全国平均（参考）	88.5%	90.8%	93.0%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科修了生 6 名が専門看護師（CNS）認定試験に合格しました。（慢性疾患看護分野 2 名、がん看護分野 2 名、精神看護分野 1 名、老人看護分野 1 名）

これまでの CNS 合格者数は、慢性疾患看護分野 15 名、がん看護分野 7 名、精神看護分野 3 名、老人看護分野 2 名、小児看護分野 2 名、感染症看護分野 2 名の合計 31 名です。

また、平成 29 年度の開講に向け専門看護師教育課程 38 単位の申請を行い、慢性看護、がん看護、精神看護、老年看護、小児看護、感染看護に加え母性看護、在宅看護を加えた計 8 分野において日本看護系大学協議会より認定を受けました。

OSCE の実施

平成 28 年 9 月 20 日、保健看護学部 3 年生を対象に、OSCE（客観的臨床能力試験）を実施しました。臨地実習に臨む前に、自分自身の臨床能力のチェックを目的とするものです。地域の方々にも模擬患者役としてご協力いただき、緊張感に包まれた中で実践的な能力試験を行なうことができました。

【国際教養学部】
国際教養学部 セミナー・フォーラム・特別講義の開催

リベラルアーツの涵養を図るため、国内外の専門家を招いてセミナー・フォーラム・特別講義を開催しました。

(1) ヘルスプロモーションセミナー ～健康で幸せな人生・生活へのメッセージ～

開催日：平成 28 年 7 月 2 日

- ・基調講演「健康と幸福のルネサンス～近未来への提案～」 特任教授 島内憲夫
- ・パネルディスカッション「健康で幸せな人生・生活へのメッセージ～グローバル社会における健康問題とその対策～」

(2) 「持続可能な高齢化社会」フォーラム

開催日：平成 28 年 12 月 17 日

- ・特別講演 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫
- ・基調講演 シンガポール国立大学社会政策分析学部 教授 Paul Cheung
- ・フォーラム

(3) 特別講義

開催日	タイトル	講師
10月 3日	なぜ今、アフリカか～ケニアに「種」をまく～	NHK 国際放送局 道傳 愛子
10月 7日	グローバル・ヘルスキャリア～国連機関で働くまで～	世界保健機構 (WHO) システム・ガバナンス・財政部門 渡部 明人
10月13日	「今はまだ、帰れない君へ」を視聴し、難民問題について考える	国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所 守屋 由紀
10月17日	地球サイズの友情を求めて (Global Friendship) ～太陽の国ザンビアへ～	NPO 法人国際交流支援協会 理事長 松下 文治
10月18日	地球サイズの友情を求めて (Global Friendship) ～ポーランドとの奇跡の出会い～	NPO 法人国際交流支援協会 理事長 松下 文治
11月 7日	日本の上水道技術ミャンマーへ	NHK 国際放送局 道傳 愛子
11月 8日	日本人の美とこころ	日本画家 平松 礼二
12月 5日	IT からグローバル・ヘルスへ～ビル・ゲイツ氏のインタビューから考える国際保健の課題～	NHK 国際放送局 道傳 愛子
12月 6日	信頼と信用で結ばれた日本とポーランドとの絆	前駐日ポーランド共和国特命全権大使外務大臣顧問 (文化・国家遺産局) ヤドヴィガ・マリア・ロドヴィッチ
12月12日	モネとジャポニズム	日本画家 平松 礼二

愛媛県伊予郡砥部町と協定の締結

平成 29 年 3 月 23 日、愛媛県伊予郡砥部町と連携協働に関する協定を締結しました。同町とは国際交流の分野を中心とした活動を進めていきます。

17. 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

PET/CT 装置新設

平成 28 年 10 月、C 棟放射線診断部門に PET/CT 装置を 2 台新設しました。呼吸同期システムを内蔵しており、質の高い PET 検査を行うことが可能となります。

放射線治療装置新設（RALS、トモセラピー）及び増設（汎用リニアック）

平成 29 年 1 月、C 棟放射線治療部門に RALS 装置を新設しました。これまで他施設の装置を借用していましたが、当院に導入したことで治療方法の選択肢が増えました。また、複雑な強度変調放射線治療・定位放射線治療に特化したトモセラピー装置の新設と 6 軸方向で位置補正可能な汎用リニアック装置の増設を行い、高精度かつ最先端な放射線治療が提供できる環境となりました。

MRI 装備ハイブリッド手術室

B 棟手術室には MRI を導入しました。手術室内に MRI 装置があることにより、術中の撮影が可能となり、手術の安全確保や確実な手術の実施、効率化につながります。現在は、脳腫瘍手術を中心に活用されていますが、今後は、腎臓、肝臓などの腫瘍治療分野での活用が期待されます。

心臓外科用ハイブリッド手術室

B 棟手術室に X 線撮影装置を設置し、心臓血管外科や循環器内科による大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)や心房中隔欠損に対する Amplatzer 閉鎖術などの経カテーテル手術、大動脈瘤に対するステントグラフト手術、開心術とステントグラフトの同時手術などを実施しています。これらの手技を安全、確実に実施することが可能になりました。

日本国際病院 (MEJ) 取得

平成 28 年 12 月 14 日、日本国際病院 (Medical Excellence JAPAN (MEJ)) の認証を取得しました。海外からの渡航受診者の受入れを推進するために、一般社団法人 Medical Excellence JAPAN (MEJ) の認証医療機関として総合診療科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科を中心に患者の受入れを行います。

【静岡病院】

災害派遣医療チーム (DMAT) 派遣

平成 28 年熊本地震発災に伴い、平成 28 年 5 月 5 日から 9 日まで静岡県医療救護班として阿蘇医療センターへ DMAT (Disaster Medical Assistance Team) を派遣しました。現地の医療チームと連携して医療救護活動に従事しました。

リハビリテーション科新設

平成 28 年 7 月 1 日より、リハビリテーション専門医の教育施設認定のためにリハビリテーション科を新設しました。これにより早期の段階からリハビリテーションを計画・実施することで実用的な日常生活が早期に実現できるようになりました。

電子カルテシステム運用開始

平成 28 年 7 月 19 日より、電子カルテシステムの運用を開始しました。旧システムからスムーズな移行を完了し、業務効率化、省力化の推進及び診療支援機能向上を図ります。

Pepper (ペッパー) 設置

平成 28 年 8 月 1 日より、多くの患者さんに楽しんで頂けるよう正面玄関ロビーに「Pepper」を設置し運用を開始しました。静岡病院の紹介、受付窓口の案内、市民公開講座のご案内等を行っています。会話のアプリケーション「ちょっとおしゃべり」は老若男女に好評です。

ドクターヘリ格納庫・ヘリポート竣工

平成 29 年 3 月 27 日、伊豆の国市より土地の無償貸与を受け、ドクターヘリ格納庫及びヘリポートが竣工しました。従来は台風接近の場合、安全確保のため名古屋空港へ緊急避難しておりましたが、今後はドクターヘリ格納庫に待避でき、天候に左右されることなく定期整備が可能となりました。

【浦安病院】

Pepper（ペッパー）設置

平成 28 年 3 月初旬、総合案内横に「Pepper」を設置しました。来院者の当院への初診・再診・紹介状のある患者に対する受診案内を担当しています。また、「Pepper」を使ったロボットセラピーにも期待しており、病棟にも導入試験を実施し、入院患者からも好反応を受けています。院内の施設案内、栄養指導や服薬指導等といった病院機能の紹介にも期待ができます。

大規模地震時医療活動 DMAT 訓練・DMAT 関東ブロック訓練について

平成 28 年 8 月 6 日、政府の総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練に、浦安病院の災害派遣医療チーム（DMAT）が参加しました。また平成 28 年 11 月 26 日～27 日、厚生労働省が主催する日本 DMAT 関東ブロック実働訓練にも参加しました。各地域から集まった DMAT 隊と連携し、無事全ての訓練を終了しました。

特定共同指導について

平成 28 年 9 月 15 日～16 日、厚生労働省及び関東信越厚生局、千葉県による特定共同指導が行われました。保険診療が医学的に妥当適切に行われているか、保険医療が法令等に基づいて行われているか、診療報酬請求の根拠が診療記録等に記載されているかなど個別指導や院内視察、集団指導による確認が行われました。

IMRT 設置について

IMRT（強度変調放射線装置）が設置され、平成 28 年 11 月より運用を開始しました。当機器は、患者への身体的な負担が少なく、照射位置などを修正し高い精度で放射線治療を実施することが出来ます。

ダヴィンチ設置について

平成 29 年 2 月より泌尿器科にてダヴィンチを使用したロボット支援手術を開始しました。当手術は、小さな傷口のみで手術が行われるため、痛みが少なく、早期回復、早期退院が可能となります。当機器を使用した手術を希望する患者も増えてきており、ニーズに応じた高度医療を提供していきます。

【順天堂越谷病院】

看護補助加算 2 取得

平成 28 年 5 月 1 日付で、2 号館（精神病棟入院基本料 15：1）病棟を対象とした施設基準「看護補助加算 2」を取得しました。

サーバー室新設

平成 28 年 12 月 26 日付けで病院開設許可事項変更許可を受け、1 号館 1 階に医療情報システムのサーバー室を新設し、平成 29 年 1 月 30 日より使用を開始しました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

増床工事完了

平成 28 年 8 月 31 日、8 床の増床工事が完了しました。11 月 30 日、残りの 48 床の 7B 病棟での増床工事が完了しました。これにより 12 月 1 日から一般病棟 275 床、認知症病棟 129 床、合計 404 床での運用を開始しました。

病院機能評価受審

日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定が、平成 29 年 6 月 14 日に更新をむかえるため、平成 28 年 11 月 17 日から 18 日、(一般病院 1<3rdG : Ver. 1.1>) 及び(精神科病院 1<3rdG : Ver. 1.1>) の認定基準を受審しました。

地域連携 ICT システム導入

平成 29 年 1 月 4 日より東京都地域医療連携 ICT システムの運用を開始して、地域医療機関と医療情報を共有できる環境整備を行い、医療の効率化を図っています。

【練馬病院】

病院機能群について

平成 28 年度より DPC 病院機能群がⅢ群 (Ⅰ, Ⅱ群以外の病院で全国 1446 病院) からⅡ群 (特定機能病院と同等の機能を持つ全国 140 病院) へと変更になりました。又それに伴い基礎係数が 1.0276 から 1.0646 へ変更となりました。

災害派遣医療チーム (DMAT) 派遣

平成 28 年熊本地震発災に伴い、平成 28 年 4 月 18 日から 21 日まで熊本赤十字病院へ、医師 1 名、看護師 2 名、事務員 1 名からなる DMAT (Disaster Medical Assistance Team) を派遣しました。現地の医療チームと連携して医療救護活動に従事しました。

血管造影検査室機器更新

平成 28 年 6 月下旬より 1 号館 1 階画像診断センター内血管造影検査室にて既存の装置を解体・撤去を行い、その後順天堂医院より譲渡された装置 (SIMENS Q BA Twin) を 7 月下旬に設置完了し、8 月初旬より臨床を開始しました。

ナチュラルローソン開店

平成 28 年 7 月 1 日、来院者、職員からの要望が強かったナチュラルローソンが開店しました。自然派志向の商品が多数あり、健康を気に掛ける方から高い評価を得ています。

優良防火対象物認定を更新

病院が行った防火安全対策の向上に係る積極的な取組み等について、平成 28 年 7 月 4 日に光が丘消防署が審査及び検査を行い、防火安全性の高い優良な防火対象物として認定が更新されました。

電子カルテ相互参照による診療情報共有

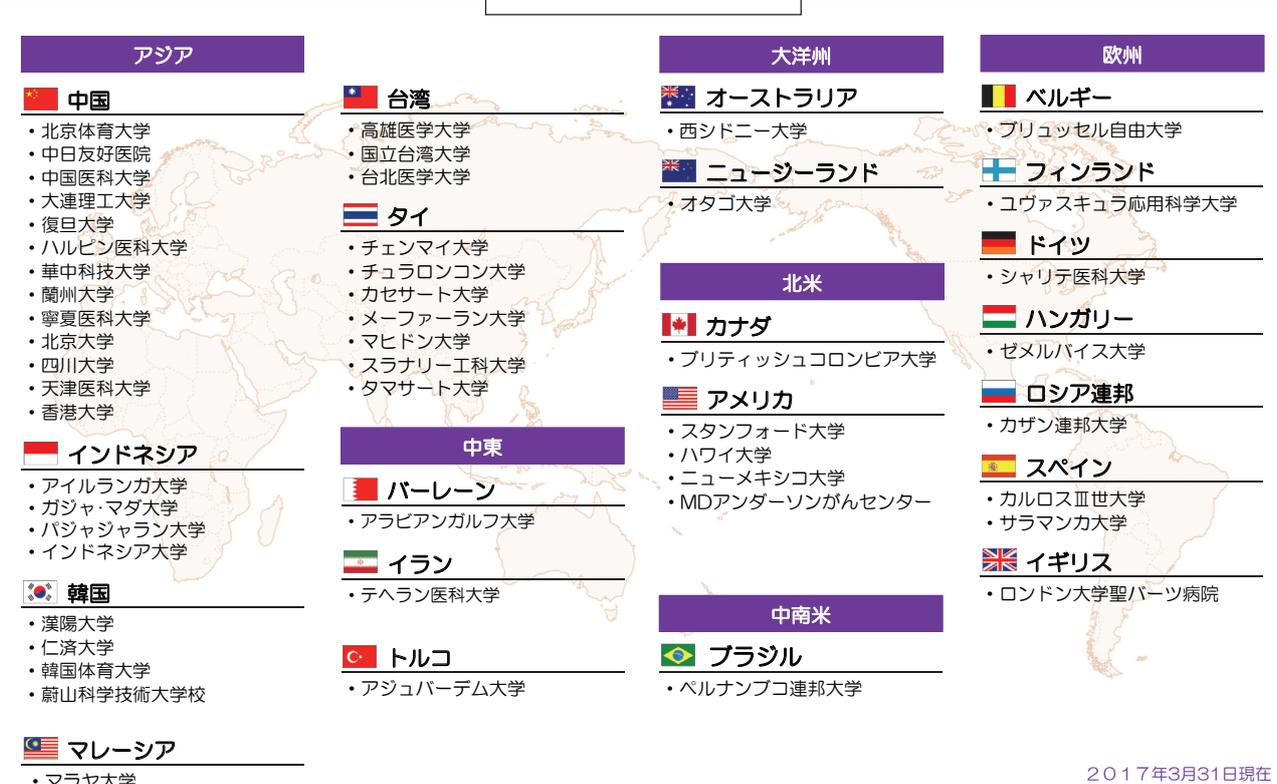
東京都地域医療連携 ICT システム整備支援事業の一環として、当院ではカルテの相互参照、もしくは一方通行参照を可能にし、連携医療機関との診療情報の共有を進めております。現在は、診療所・クリニック 18 施設、有床施設 4 施設、調剤薬局 6 施設にカルテ参照を行い、平成 29 年 2 月 23 日より、本学医学部附属病院 (順天堂医院、高齢者医療センター) とカルテ相互参照の運用を開始しました。

18. 国際交流活動

【大学交流協定について】

新たに、サラマンカ大学、西シドニー大学、オタゴ大学、中日友好医院、テヘラン医科大学、カルロス三世大学と大学交流協定を結び、国際交流協定校は 21 カ国／地域、51 校となりました。

大学交流協定校一覧



アジア	大洋州	欧州
中国 <ul style="list-style-type: none"> 北京体育大学 中日友好医院 中国医科大学 大連理工大学 復旦大学 ハルビン医科大学 華中科技大学 蘭州大学 寧夏医科大学 北京大学 四川大学 天津医科大学 香港大学 	台湾 <ul style="list-style-type: none"> 高雄医学大学 国立台湾大学 台北医学大学 	オーストラリア <ul style="list-style-type: none"> 西シドニー大学
タイ <ul style="list-style-type: none"> チェンマイ大学 チュロンコン大学 カセサート大学 メーファーン大学 マヒドン大学 スラナリー工科大学 タマサート大学 	ニュージーランド <ul style="list-style-type: none"> オタゴ大学 	ベルギー <ul style="list-style-type: none"> ブリュッセル自由大学
インドネシア <ul style="list-style-type: none"> アイルラング大学 ガジャ・マダ大学 パジャジャラン大学 インドネシア大学 	北米	フィンランド <ul style="list-style-type: none"> ユヴァスキュラ応用科学大学
韓国 <ul style="list-style-type: none"> 漢陽大学 仁済大学 韓国体育大学 蔚山科学技術大学校 	カナダ <ul style="list-style-type: none"> プリティッシュコロンビア大学 	ドイツ <ul style="list-style-type: none"> シャリテ医科大学
マレーシア <ul style="list-style-type: none"> マラヤ大学 	アメリカ <ul style="list-style-type: none"> スタンフォード大学 ハワイ大学 ニューメキシコ大学 MDアンダーソンがんセンター 	ハンガリー <ul style="list-style-type: none"> ゼメルバイス大学
	中東	ロシア連邦 <ul style="list-style-type: none"> カザン連邦大学
	バーレーン <ul style="list-style-type: none"> アラビアンガルフ大学 	スペイン <ul style="list-style-type: none"> カルロス三世大学 サラマンカ大学
	イラン <ul style="list-style-type: none"> テヘラン医科大学 	イギリス <ul style="list-style-type: none"> ロンドン大学聖パーツ病院
	トルコ <ul style="list-style-type: none"> アジュバーテム大学 	中南米
	ブラジル <ul style="list-style-type: none"> ペルナンブコ連邦大学 	

2017年3月31日現在

【留学生の研修・交流活動について】

留学生の受け入れは、36 カ国／地域、342 名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教職員との交流も積極的に推進しています。

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	67 名	ベトナム	6 名	サウジアラビア	1 名
台湾	60	オマーン	5	ジンバブエ	1
タイ	38	ミャンマー	5	スペイン	1
マレーシア	25	イタリア	4	スリランカ	1
韓国	24	オーストラリア	3	トルコ	1
アメリカ	19	メキシコ	3	ニュージーランド	1
インドネシア	15	アイルランド	2	パキスタン	1
イギリス	11	カナダ	2	フィリピン	1
フランス	11	バングラデシュ	2	ベルギー	1
モンゴル	10	アルゼンチン	1	ホンジュラス	1
シンガポール	9	オーストリア	1	モーリシャス	1
ドイツ	6	カザフスタン	1	ヨルダン	1

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生、短期研修生

【学術交流について】

○ 中国・中日友好医院に於ける特別講演・調印式

平成 28 年 7 月 8 日、中国・中日友好医院の招待にて、小川秀興理事長が同医院を訪問され、王辰院長のご案内の下、施設見学・意見交換を行なうとともに、今後の人的交流を謳う協定書に調印されました。また、引き続き現地日本大使館関係者も出席し行なわれた中日友好医院明道論壇（フォーラム）において特別講演をされた小川秀興理事長は、これまでの順天堂が築いてきた中国との学術交流を紹介され、中日友好医院とも実り多いが交流が実現することを期待する旨お話しになりました。



交流協定調印式の様子

○ 第 5 回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウム

平成 28 年 9 月 3 日、第 5 回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウムが本学にて開催されました。今回のシンポジウムは、「Cancer Research and Treatment」というテーマの下、泌尿器科学、遺伝子学、病理腫瘍学、乳腺外科学の分野から最新の研究成果の発表が行なわれ、続く質疑応答では活発な意見交換がなされました。また、これに先立って行なわれた表敬訪問では、これまでの友好関係を振り返るとともに、改めて今後の両大学の研究交流をより促進していくことが確認されました。第 6 回のシンポジウムは中国・北京大学において開催される予定です。



第 5 回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウムの様子

○ 第 1 回順天堂大学-仁済大学共同シンポジウム

平成 28 年 11 月 12 日、第 1 回順天堂大学-仁済大学共同シンポジウムが韓国・仁済大学附属海雲台白病院にて開催されました。本学からは、新井一学長、神経学講座 服部信孝教授、生化学第一講座 横溝岳彦教授、医学教育学研究室 武田裕子教授が出席し、本学の歴史、医学教育、研究活動と脳神経学分野の最新研究について発表されました。仁済大学とは、平成 27 年 11 月に協定を結んでおり、今回のシンポジウムを契機として、より一層活発な交流が期待されます。



第 1 回順天堂大学-仁済大学共同シンポジウムの様子

19. 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

平成 28 年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」の新規採択率は 32.5%、採択件数は 493 件（継続含む）で 4 年制私立大学 569 校中第 5 位、配分額は第 6 位となりました。今後も全学部が協力・連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費助成事業の申請数・採択件数・採択率の向上を図ります。

私立大学研究ブランディング事業

平成 28 年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」（タイプ B【世界展開型】）に、本学の研究プロジェクト「脳の機能と構造を視る：多次元イメージングセンター」が選定されました。

私立学校施設整備費補助金

文部科学省「私立学校施設整備費補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

(1) 研究装置

- ① Illumina 次世代シーケンサー next seq 500（戦略分）
- ② カールツァイス超解像レーザースキャン顕微鏡 LSM880（ブランディング分）

(2) 防災機能等強化緊急特別推進事業

- ① 順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業（仮称）新研究棟建設

私立大学等研究設備整備費等補助金

文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

- ・研究設備 3500 ジェネティックアナライザ

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」（平成 24 年度採択）が 7 大学（順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）の連携のもと 5 年目（最終年）を迎えました。各種シンポジウム、市民公開講座、ICT 連携講義、FD 研修会、臨床研究研修会等の様々な活動が行われました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

平成 27 年度に採択されました文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」が 2 年目を迎えました。東京医科歯科大学、株式会社ニッピと連携して行う本事業では、女性研究者の活躍推進や研究環境のダイバーシティ実現に取り組んでおり、合同シンポジウムや各種セミナー開催いたしました。（補助期間は平成 29 年度まで）

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム事業『運動のカルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として 2 年目を迎え、ロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、ロコモ予防運動プログラム及び女性医師を活用した ICT 診療化に向けた開発・実証を行いました。今後も参画企業と連携し製品化などの社会実装に向け更なる研究開発を進めます。（補助期間は平成 33 年度まで）

20. 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

(1) B棟Ⅱ期（低層棟）建設工事

平成26年10月に着工したB棟Ⅱ期（低層棟）工事は、平成28年4月に竣工し、順次供用開始し、フル稼働しました。また、国際的な環境格付け LEED-Healthcare 版 GOLD を日本で初めて認証を受けました。

(2) C棟建設

平成27年1月に着工したC棟建設工事は、平成28年8月に竣工して、順次供用開始し、フル稼働しました。

(3) 1号館外来・病棟改修工事

B棟Ⅱ期、C棟へ機能移転したスペースを利用して、外来・病棟の機能拡充工事を平成29年3月から着手しました。

(4) 1号館・C棟間接続通路工事

1号館・C棟間（地下2階～6階）の各階、計13箇所を接続する工事は、平成28年8月に着工し、平成29年2月に竣工して、全箇所供用開始しました。

(5) (仮称) 油坂上空通路設置工事

平成27年7月に着工したB棟と大学施設を結ぶ順天堂専用通路工事は、平成28年5月に竣工し、供用開始しました。

(6) C棟・D棟連絡通路工事

平成27年10月、C棟とD棟を地上と地下の2カ所で連絡する通路工事に着手し、地下通路は平成28年8月、地上通路は平成28年11月に竣工し、供用開始しました。

(7) (仮称) 新研究棟建設工事

平成28年2月に7号館、8号館A・Bの解体工事に着手し、平成28年7月に地上部分の解体が完了しました。平成28年8月から地下・新築工事（Ⅰ期）に着手しました。新築工事（Ⅰ期）は、平成30年12月竣工の予定で工事を進めています。

第2教育棟同時通訳ブース設置

平成29年3月、第2教育棟に国際教養学部で使用する同時通訳ブースを設置しました。

【さくらキャンパス】

新女子学生寮完成

平成29年1月、新女子学生寮『啓心寮（西寮）』が完成しました。鉄筋8階建てで、最大収容人数252名、各階に寮生が集いコミュニケーションが取れるコモンスペース・リビングスペースが配されています。

新体操競技場完成

平成29年2月、新体操競技場（OGAWA GYMUNASTICS ARENA）が完成しました。スカッシュコート、アスレチックトレーナーズルームを併設した世界のモデルとなる競技環境となっています。

2号館教室整備

収容定員増に対応するため、2号館4階の実習室等を教室へ改修する工事が完了しました。50人教室4室、250人教室1室を整備しました。

【浦安キャンパス】

ネットワーク環境整備

平成 29 年度 4 月からのモバイル端末を利用した出席確認・授業評価システムの導入のために、Wi-Fi 環境の整備（接続増加が見込まれるため学生用 IP レンジの拡張等）、各教室前にモバイル端末受電スポットの設置を行い、学生のネットワーク利用環境を改善しました。

食堂・自習スペースの環境整備

学生生活環境の改善のために、平成 29 年 3 月に経年劣化していた、食堂等のテーブルと椅子の入替を行いました。また、自習や休憩のために教室前廊下等には新たにテーブルと椅子を設置しました。

講義資料印刷機更新

平成 28 年 4 月に講義資料印刷用の印刷機を更新しました。これまでより低コストで臨床画像資料等は大変見やすい資料を印刷できるようになりました。

【三島キャンパス】

教務・学籍情報基幹システム GAKUEN 導入

学生情報を一元管理できる教務・学籍情報基幹システム GAKUEN を導入しました。成績管理はもとより、教員と学生間の学習指導におけるコミュニケーションツールとして活用しています。学生自身も Web 上でスケジュールや履修状況管理が可能になり利便性が高まりました。

実習室に iPad テキスト導入

実習室に、3D で人体解剖図を閲覧できるアプリをインストールした iPad テキスト 35 台を設置しました。これにより演習中、リアルな人体構造のデジタル画像を見ながら学習を深めることができるようになりました。主に生活援助技術・診療治療援助技術・フィジカルアセスメントの授業で活用しています。iPad の写真及びビデオ撮影機能を用いて、実習場面の映像をその場で学生自身が再生・確認することができるようになり、看護技術の向上に役立っています。

実習室改装

実習室不足を解消する為、実習室 I にアコーディオンカーテンを設置し小部屋に仕切ることにより複数領域が同時に授業できる環境を整備しました。

防風フェンス設置

台風や冬場の強風時に小石が吹き飛ばされる事で発生していた車の破損を防止する為、駐車場に防風フェンスを設置しました。

21. スポーツ分野での活躍

リオデジャネイロオリンピック

平成 28 年 8 月、第 31 回オリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催され、10 代の若き現役学生の北川貴理（スポーツ科学科 2 年）、塩尻和也（スポーツ科学科 2 年）の両君と卒業生 5 名の合計 7 名が参加しました。

体操競技の男子団体決勝では、本学卒業生の田中佑典（平成 24 年卒業・現コナミスポーツクラブ）、加藤凌平（平成 28 年卒業・現コナミスポーツクラブ）の両名が代表として出場し、アテネ大会以来 3 大会ぶりとなる金メダルを獲得しました。



写真提供：フォート・キシモト

写真提供：フォート・キシモト

箱根駅伝総合第 4 位

平成 29 年 1 月に開催された第 93 回東京箱根間往復大学駅伝競走において、2 区のオリンピック塩尻和也（スポーツ科学科 2 年）が 8 人抜き、4 区の栃木渡（スポーツ科学科 3 年）と 10 区の作田直也（スポーツ科学科 4 年）が区間賞獲得の走りを見せ、往路 3 位、復路 6 位、総合 4 位に入賞し、シード権を獲得しました。



写真提供：文化工房

部活動の全国大会優勝

体操競技部男子、スカッシュ部男子・女子、フットサル部が全日本インカレで優勝しました。体操競技部男子は全日本体操団体選手権大会においても社会人の強豪チームのコナミスポーツクラブなどを抑え優勝し、東日本学生選手権大会と合わせ 3 冠獲得となりました。



写真提供：フォート・キシモト

22. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

【法人・大学】

28. 5. 21	第 339 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 25	第 38 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「女性アスリートの可能性」
9. 8	第 340 回順天堂医学会学術集会「女性アスリートのサポート～各国の取り組みを踏まえて～」
29. 2. 18	第 39 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「大人にも子どもにも重要な睡眠時無呼吸症候群：イビキをなくして元気で安全に」
3. 29	第 341 回順天堂医学会学術集会「教授定年退職記念講演会」

【大学院医学研究科】

28. 7. 15	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 国際シンポジウム「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み ～クリニカルシーケンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」
-----------	---

【順天堂医院】

28. 6. 18	第 17 回市民公開講座 「小児がん ～小児がんの正しい理解とトータルケア～」 「小児がん患者と家族の支援について」
10. 1	第 11 回順天堂リウマチ・膠原病研究会公開講座（膠原病を正しく理解するために） 「全身性エリテマトーデス（SLE）ってどんな病気？」 「わかりやすいシェーグレン症候群」 「股関節の痛みの原因と対処法」
22	第 9 回医療連携を共に考える会 「サルコペニア・フレイルの予防と、台東区における地域リハビリテーション支援事業について」 「産婦人科診療の現況」 「医療連携のために見逃せない眼症状 ～結膜下出血からぶどう膜炎まで～」
12. 17	第 18 回市民公開講座 「骨転移の診療」 「がん療養生活を支える様々な仕組みを知ろう」
29. 2. 18	第 10 回医療連携を共に考える会 「肥満症の治療」 「日常生活にみられる“てんかん”とその治療法」 「見逃してはいけない尿からのサインー明日から役立つ尿検査のポイントー」

【静岡病院】

28. 4. 20	第 42 回市民公開講座 「形成外科をご存知ですか？～写真で見る形成外科疾患～」
5. 24	第 43 回市民公開講座 「放射線治療 過去・現在・未来」
6. 20	第 44 回市民公開講座 「夏カゼから家族を守りましょう ～夏のカゼは冬のカゼとは違います～」
7. 21	第 32 回東部周産期研究会 「妊娠中のストレスが与える周産期予後及び児への影響」 「出生後の NICU 環境による児の DNA 変化」
30	第 45 回市民公開講座 「骨粗鬆症」 ①静かなドロボー骨粗鬆症 ～骨が弱いと長生きできないって…本当!?!～ ②骨粗鬆症の予防・改善に運動をしよう!～健康寿命を伸ばすために～
8. 23	第 46 回市民公開講座 「うつる皮膚病・うつらない皮膚病ーこわい皮膚病・こわくない皮膚病ー」
9. 26	第 47 回市民公開講座 「リンパ腺がはれたら ～いろいろな病気でリンパ腺ははれます～」
10. 18	第 48 回市民公開講座 「大動脈弁狭窄症 ～その症状、診断、治療について～」
11. 17	第 33 回東部周産期研究会 「興味ある胎児循環症例：重症大動脈狭窄の一例」 「周産期医療者が知っておくべき遺伝知識」
22	第 49 回市民公開講座 ①身近に潜む呼吸器感染症 ～肺炎、結核、インフルエンザなど～ ②肺癌の手術最前線 ～貴方が肺癌に罹ったら知っておきたいこと～
12. 14	第 50 回市民公開講座 「糖尿病はなぜこわい？～あなたの生活習慣は大丈夫ですか～」
29. 1. 23	第 51 回市民公開講座 「ご存知ですか？慢性腎臓病（CKD）～意外に怖い新たな国民病～」
2. 13	第 52 回市民公開講座 「腹腔鏡下手術の進歩ー胃がんの手術ー ～最新の手術機器について～」
3. 4	第 53 回市民公開講座 ※三島キャンパス合同開催 「災害に備えよう」①日本における災害医療の現状 ②東日本大震災の甚大な被害を体験して、伝えたいこと
23	第 34 回東部周産期研究会 「妊娠中の梅毒感染妊婦の管理法」 「周産期に異常指摘を認めなかった梅毒母体児の一例」

【浦安病院】

28. 6. 9	第 50 回医療連携フォーラム 「造血幹細胞移植」 「周術期口腔機能管理による術後合併症の予防と抗血栓療法患者の対応」
10. 28	第 51 回医療連携フォーラム 「脳卒中診療における前方連携、後方連携の新たな取り組み」 「膝関節外科のトピックスとピットフォール」
29. 1. 18	地域医療セミナー 「大腸癌を正しく理解しよう」
2. 1	第 52 回医療連携フォーラム 「前立腺癌に対する手術の変遷－ダヴィンチ導入に際して－」 「潰瘍性大腸炎の最近の話題－薬剤を用いない治療について－」
3. 9	第 53 回医療連携フォーラム 「遺伝性血管性浮腫 (Hereditary angioedema ; HAE) の知見について」 「腹腔鏡手術との巡り会い－そしてゼロからの始まり－」

【順天堂越谷病院】

28. 4. 23	第 60 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「自律神経の不思議」
7. 23	第 61 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「人はなぜ自殺するのか－メカニズムと予防を考える－」
10. 15	第 1 回 ガーヤ★健康茶論 「うつ病予防のお話」「認知症予防のお話」「誤嚥性肺炎予防のお話」
11. 26	第 62 回 順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催 講演会 「職場結合性うつ病」
12. 3	第 10 回 パーキンソン病教室 「パーキンソン病を知る：病気・治療・生活について」「自宅でできる体操」
29. 3. 25	第 2 回 ガーヤ★健康茶論 「パーキンソン病と上手にお付き合い」「バイバイばい菌！正しい手洗い方法」 「家族が倒れた！その時どうする？」

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

28. 4. 2	第 1 回区民健康講座 「痛みに負けずに生活を楽しもう－ペインクリニックのお手伝い－」
5. 21	第 2 回区民健康講座 「健康長寿のために心臓病から身を守る～自分のコレステロール、血圧、血糖を知って、さあ どうする～」
6. 18	第 3 回区民健康講座「水虫のおはなし」
7. 16	第 4 回区民健康講座「骨粗鬆症とロコモティブシンドローム」
9. 3	第 5 回区民健康講座「パーキンソン病について」

9. 16	第 5 回医療連携フォーラム 「認知症治療の最近の話題～薬物治療や介護について～」 「臨床心臓病の進歩から学ぶこと」 「しのびよる紫煙の恐怖 ～窓を開く禁煙外来～」 「当院の禁煙外来について」
10. 15	第 6 回区民健康講座 「骨盤臓器脱について～出産を経験したあなたへ 何か出てませんか?～」
11. 19	第 7 回区民健康講座 「認知症の症例について」
12. 17	第 8 回区民健康講座 「糖尿病性腎症について」
29. 3. 4	第 6 回医療連携フォーラム 「認知症疾患医療センターにおける認知症支援に関する取り組み」 「手外科領域の最新の診断治療」 「江東区医師会 江東区の災害時医療体制について」

【練馬病院】

28. 4. 23	区民健康医学講座 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）～健康寿命を延ばすために～」
5. 25	医療連携フォーラム 「急性腹膜炎の CT 画像診断」
6. 25	区民健康医学講座 「いびきと睡眠時無呼吸」
7. 21	医療連携フォーラム 「後天性血友病の病態と治療」 「がんの常識と最新がん薬物療法」
9. 23	医療連携フォーラム 「大腸癌薬物療法の治療選択『私の考え』」
10. 22	区民健康医学講座 「たばこと病気」 ※練馬区との共催
11. 17	医療連携フォーラム 「認知症の最近の知見」 「外科治療が必要な脳卒中」
26	区民健康医学講座 「運動を中心とした糖尿病予防」 ※練馬区との共催
12. 3	区民健康医学講座 「消化器がんの予防と治療」 ※練馬区との共催
29. 1. 19	医療連携フォーラム 「潰瘍性大腸炎の薬を使わない治療について」 「移りゆく C 型肝炎治療～完全制覇に向けて～」
2. 25	区民健康医学講座 「認知機能の衰えを防ぐ食生活」
3. 16	医療連携フォーラム 「ステロイドで治らない皮膚病」 「食べるということ～嚥下障害に対するリハ的アプローチ～」

【さくらキャンパス】

28. 7. 15	オープンキャンパス公開講座 「ロコモ時計を巻き戻そう」
16	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
30	文京区健康教室 「親子でできる「7つの習慣」で丈夫な身体を作ろう」
8. 6	文京ジュニア・アスリート・アカデミー公開講座 「子どもの頃にやっておきたいスポーツトレーニング」
20	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
〃	オープンキャンパス公開講座 「バスケットボール合同練習会（練習試合）」

9.17	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
10.15	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
23	親子スポーツ教室「レクリエーション教室」
29	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
11.12	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
13	親子スポーツ教室「ダンス教室」
16	順天堂大学公開講座兼日本体育施設協会認定「体育施設運營養成講習会」
19	文京区健康教室「足から考える健康づくり～ケガの予防とくつ選び～」
20	親子スポーツ教室「バスケットボール教室」
12.4	親子スポーツ教室「サッカー教室」
17	ロコモ対策 運動の大切さを知ろう
29.2.4	文京ジュニア・アスリート・アカデミー公開講座「スポーツ心理学」
25	文京区健康教室「子どものこころの健康を育む保護者の関わり方」
3.29	浦安市公開講座「なわとび教室」

【浦安キャンパス】

28.7.9	オープンスクール「子どもの看護」
10	オープンスクール「生命の誕生を見守り支える」
20	第27回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「食中毒の予防について」
8.20	オープンスクール「手術を受ける人への看護」
24	第28回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「過去の災害から学ぶ知恵」
9.14	第29回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「病院の医師や看護師との上手なつきあい方」
10.19	第30回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「こころの健康－マインドフルネス瞑想をやってみよう－」
11.16	第31回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「高齢者が豊かに生きる社会 終活について考えてみる～浦安市での終活に関するアンケートの結果から～」

【三島キャンパス】

28.8.20	第8回順天堂大学保健看護学部公開講座 「こんなときどうする？幼児期の病気と対処法」 みしま教養セミナー「順天堂大学コース」
9.1	第1回「身近な保健統計データ」
8	第2回「在宅療養の科学」
15	第3回「科学的根拠に基づいたがん予防」

10. 6	第4回「調度良い運動強度ってどれくらい？」
20	第5回「市民ができる一次救命処置（シュミレーションを使って）」
29. 1. 28	三島市幸原町学外公開講座 「早く元気になるために ～病気のとくに家庭でできること～」
3. 4	第9回順天堂大学保健看護学部公開講座 ※静岡病院合同開催 「災害に備えよう」①日本における災害医療の現状 ②東日本大震災の甚大な被害を体験して、伝えたいこと

【国際教養学部】

28. 7. 2	ヘルスプロモーション・セミナー2016「健康で幸せな人生・生活へのメッセージ」
12. 17	「持続可能な高齢化社会」フォーラム

【男女共同参画推進室】

28. 12. 13	平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」シンポジウム 「女性の研究力向上～上位職を増やすためには～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)
29. 1. 21	第6回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「一不断前進一 女性研究者支援の現在と未来 ～多様・柔軟・創造性を究める～」 (東京医科歯科大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所との共同開催)

23. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日

右欄：活動名

【本郷・お茶の水キャンパス】

28. 4. 10	順天堂交響楽団定期演奏会（文京シビックホール）
6. 30	がん教育後援会（文京区立本郷小学校、講師 1 名派遣）
7. 29	文京区小学校教員対象講習会「小学校段階で必要ながん教育の在り方を考える」
9. 9	がん教育後援会（文京区立文林中学校、講師 1 名派遣）
11. 19	文京博覧会 2016 の出展補助要員（国際教養学部）
12. 10	がん教育後援会（文京区立第一中学校、講師 1 名派遣）
14	公開シンポジウム「がん教育について考える」
20	がん教育後援会（文京区立窪町小学校、講師 1 名派遣）
29. 1. 14	がん教育後援会（文京区立第九中学校、講師 1 名派遣）
2. 14	がん教育後援会（文京区立誠之小学校、講師 1 名派遣）

【順天堂医院】

28. 5. 18	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣（6月7日）
21	移動教室における付添医師派遣（7月6日～8日）
31	小児病棟夏祭り（7月10日）
6. 15	文京区心身障害者・児通所施設合同運動会に対する看護師派遣（10月1日）
9. 16	救急隊員教育における講師派遣（10月31日）

【静岡病院】

28. 5. 19	中学生職場体験（～20日）（伊豆の国市立長岡中学校 2 名参加）
23	中学生職場体験（～24日）（伊豆の国市立葦山中学校 3 名参加）
6. 6	高校生職場体験（～9日）（田方農業高等学校 1 名参加）
7. 26	高校生リハビリテーション見学（～28日）（静岡県東部地区高等学校 3 名参加）
8. 2	高校生リハビリテーション見学（～3日）（静岡県東部地区高等学校 2 名参加）
3	葦山狩野川まつり 2016 伊豆長岡温泉戦国花火大会 看護師派遣（～4日）
8	高校生 1 日体験ナース（～9日）（8日 30 名、9日 30 名参加）
9. 25	ライド&ライド狩野川 看護師派遣

【浦安病院】

28. 4. 11	浦安市介護認定審査会に看護師 1 名派遣（年 12 回）
16	浦安市社会性不妊治療研究セミナーに医師 1 名を派遣（月 1 回、計 12 回）

6. 20	浦安市学校等における医療的ケア検討委員会に看護師 2 名派遣 (12月2日、1月6日、1月25日も派遣)
7. 4	浦安市夜間路上禁煙運動駅前キャンペーンに参加 (新浦安駅前)
17	ふれあい看護体験 (千葉県看護協会主催、高校生受入)

【順天堂越谷病院】

28. 6. 10	桜井地区センター・公民館主催事業 平成 28 年度高齢者学級「桜井大学校」 「老いと心のバランス (高齢者の鬱)」(桜井地区センター・公民館「あすぱる」) の講演会に講師 (看護師) 派遣
29. 3. 12	桜井地区民生委員・児童委員協議会 地域福祉講演会 「認知症に早く気付こう」(桜井地区センター・公民館「あすぱる」) の講演会に講師 (看護師) 派遣

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

28. 4. 9	オレンジカフェ (認知症カフェ) 健康相談 (5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月4日、2月11日、3月11日)
14	校外学習協力 (都立葛飾総合高等学校 3 年生)
24	認知症カフェ (長屋カフェ)
5. 25	東部地区支部ミニ講座「地域につなぐ認知症ケアについて」
28	第 1 回東京都看護師認知症対応力向上研修 I
6. 13	葛西第三地区民生委員研修会 認知症について
18	亀戸ふれあいセンター認知症についての研修
28	宿泊学習に係る救急処置依頼 (千葉県立飯高特別支援学校)
7. 19	川崎市立多摩病院認知症についての研修
25	中学生外来ボランティア体験 (私立大妻女子中学 2 年生)
27	一日看護体験 (高校生 2 名)
8. 30	江戸川区ケアマネジャー 認知症研修
9. 19	こうほうえん認知症カフェ
23	包括支援センターDASC 勉強会
26	うめわか講座 (認知症)
10. 5	東京都看護師認知症対応力向上研修 II
18	むこうじま交流会 (認知症介護者と専門家の交流会)
26	修学旅行緊急時における対応依頼 (和歌山県立たちばな支援学校)
27	修学旅行中の急病人手当て依頼 (茨城県立土浦特別支援学校)

11. 19	深川愛の園 家族介護教室
26	平成 28 年度 病院看護師のための認知症ケア研修（～11 月 27 日）23 区対象
12. 22	順天堂医療看護学部学生によるキャンドルサービス（一般病棟にて）
29. 2. 4	平成 28 年度 病院看護師のための認知症ケア研修（～2 月 5 日）23 区対象
9	あそか園職員研修（認知症）
26	東京マラソン 2016（救護依頼）
3. 19	認知症カフェ（長屋カフェ）

【練馬病院】

28. 5. 19	中学生職場体験（三重県熊野市立有馬中学校 5 名参加）
8. 13	C-cube プロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校 38 名参加）
9. 14	中学生職場体験学習（練馬区立南ヶ丘中学校 4 名参加）（～9 月 15 日）
11. 8	中学生職場体験学習（練馬区立光が丘第二中学校 8 名参加）（～11 月 10 日）
29. 2. 17	中学生病院見学（広尾学園中学校・高等学校 2 名参加）
3. 26	練馬こぶしハーフマラソン 2017（救護体制への応援）

【さくらキャンパス】

28. 4. 2	パラリンピック日本代表候補選手合宿（投擲）の受け入れ（4 月～3 月の日曜日）
〃	県内パラリンピック日本代表候補選手（高校生）へ定期的な練習場所の提供（4 月～3 月の日曜日）
10	順天堂大学体操教室（4 月～3 月の毎週日曜日開催）
16	順天堂大学陸上競技記録会（中学生から一般、4 月～3 月に 12 回開催）
17	文京ジュニア・アスリート・アカデミー講習会（順天堂大学陸上競技記録会参加含む）（毎月 2 回開催：2 年間 1 期【2 年目は主にアドバイザーとして協力】）
5. 8	成田市シニア健康カレッジ（毎月 2 回開催：2 年間 1 期）
31	順天堂大学バレーボール教室（5 月～12 月の毎週火曜日開催）
6. 3	第 68 回啓心寮祭（～6 月 5 日）
19	千葉県民の日中央行事（ちばわくわくフェスタ）
28	文京区体力向上アドバイザー派遣（6 月～3 月に区立小学校 20 校・各 1 回派遣）
7. 1	文京区体力向上指導員派遣（7 月～3 月に区立小学校 20 校・延べ 200 回派遣）
6	白井市市民大学講座
11	オリンピックによる体操授業（三鷹市立南浦小学校）
19	佐倉市民カレッジ（講師派遣 全 3 回）
22	習志野市こども健康大学（7 月～8 月 全 3 回開催）

27	文京区教員研修会 講演
30	印西市市民アカデミー (講師派遣 5月～3月開催)
8. 7	酒々井町学修支援「未来塾」(8月～3月の毎週日曜日開催)
20	栄町 SAKAE リバーサイドフェスティバル
9. 3	文京区中学校 PTA 研修会 講演「体力向上について」
8	「パラスポーツフォーラム in CHIBA」パラリンピック競技体験会参加
26	大阪市主催・小学生向け体操教室 オリンピアンによる体操授業
10. 2	栄町体力測定調査 (10月と12月に1回ずつ開催)
5	川口市放課後こども運動教室
9	酒々井町スポーツ・レクリエーション祭
10	ちばスポーツ夢フェスタ 2016
10	印西市スポーツフェスタ
22	文京区体力向上イベント (10月～3月、全3回開催)
23	栄町スポーツ健康増進大会
24	オリンピアンによる体操授業 (文京区第一中学校)
11. 6	酒々井町体力・運動能力測定会「おとな」もスポーツテスト
19	スペシャルオリンピックス日本・千葉 障害者スポーツ大会 運営ボランティア、サッカーボランティア (～20日)
20	浦安市「まちづくり講演」
23	酒々井町ノルディックウォーキング教室 (11月、3月に1回ずつ開催)
12. 7	富里市小・中学生ジョイントスクール事業 // 「ゴールボール」体験会
14	富里市幼稚園体力向上支援
18	「SAKURA 未来プロジェクト シンポジウムシリーズ Vol11」開催
29. 1. 13	文京区体力向上事業「成果報告会」
20	“今、知ろう！パラリンピック”シンポジウム パネリスト参加
23	富里市第一小学校教育ミニ集会 講師
2. 13	練馬区体力向上に関する研究部会 講師「小学校体育授業における準備運動の工夫」
15	豊島区内小学校研究会 講師「こどもロコモについて」
19	成田市スポーツ教室 (バレーボール)
26	さかえスポーツフェスタ (2月26日サッカー教室、3月11日体操教室)

【浦安キャンパス】

28. 4. 17	地域の障がい者との交流とミニ運動会
5. 19	ごみの散乱防止と資源ごみの再資源化普及啓発キャンペーン参加（～20日）
6. 10	自転車無盗難推進キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 参加
11	地域の障がい者・児とのふれあい芋ほり交流会バスツアー
7. 14	夏季防犯キャンペーン及び市内一斉防犯パトロール団結式参加
16	浦安市老人福祉センター（Uセンター）夏祭り（ダンスや軽音楽、模擬店等）
〃	市民参加型ワークショップ「浦安ワクワク会議」参加
8. 17	うらやすこども大学 市内在住の小学4、5年生に「ばいきんをやっつける！！～不思議なめんえき（免疫）のしくみ～」 「赤ちゃんのいる生活を体験してみよう」をテーマに講義
29	福島でのテディベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
9. 23	健康教室 浦安市高齢者対象（浦安市老人福祉センター）
10. 3	赤い羽根共同募金（街頭募金）協力
4	浦安市高洲北小学校2年生 「町探検」浦安キャンパス構内見学案内
15	第27回順華祭：「SHIN ～心・親・深・信・真・新・慎～」 （～16日）
18	健康教室 生後1歳未満児とその父母対象（地域子育て支援センターハミング）
21	喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン
23	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 参加
11. 22	健康教室 生後1歳未満児とその父母対象（地域子育て支援センターハミング）
12. 8	歳末特別警戒防犯活動・冬の交通安全運動合同キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 参加
22	キャンドルサービス（病棟・病室訪問）
4～3月	浦安子ども支援サークル「UP DRAFT」（生活困窮世帯などの子どもの学習支援） 浦安市学生防犯委員会 V5 会議参加（年7回開催） 浦安市指定避難所 災害時の避難施設として浦安キャンパスの一部を浦安市民に開放 浦安市こどもプロジェクト事業効果測定研究（少子化対策への取組方法の研究）への協力 浦安老人クラブ対象 健康教室（年8回開催）

【三島キャンパス】

28. 5. 8	第1回大場川クリーン活動（リバーフレンドシップ制度に基づく学生清掃ボランティア活動、28年度は全4回実施）
30	大場川クリーン活動団体による三島市 市民主体のまちづくり補助事業（上岩崎公園から発信する助成を中心とした地域活性事業）活動報告

6. 19	大場川クリーン活動団体による清掃活動及び地域交流イベント開催（28年度は全2回実施）
8. 3	三島市家族介護教室（9月28日まで計4回開催）
12	三島市「自殺予防週間」街頭キャンペーン協力 学生・教員が参加
20	3年生 OSCE 地域の方々が模擬患者として参加
10. 29	第7回順咲祭「看せよう仁の心」（～30日） （三島市子育て支援課との連携事業を始めとする地域社会及び住民と学生の協働）
11. 12	キャンドルナイト三島参加（温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動）
13	三島市 市民主体のまちづくり補助事業「ノルディックウォーキングを通じた体験型『健幸づくり』事業」協力
27	三島市大宮町3丁目子供会（子どもは地域の宝事業における施設利用協力）
12. 3	三島市災害時医療救護体制 救護所設置訓練
20	クリスマスキャロル（静岡病院）病棟・病室訪問
29. 1. 5	「看護援助論」演習 地域の方々が教育ボランティアとして参加
10	「公衆衛生看護活動論Ⅰ」演習 地域の方々が教育ボランティアとして参加
28	三島市幸原町（子どもは地域の宝事業）託児ボランティア
3. 12	三島市「ノルディックウォーキングイベント A・RU・KU～みしま散歩とご褒美マルシェ～」 後援及び指導スタッフ派遣、学生一般参加
15	三島市民有志による「大学花壇づくりボランティア」
その他の活動	三島市「ストップ少子化」若者向けリーフレット作成企画へ学生参加 三島市スポーツ保育推進事業への協力 三島市「グローバル人材育成都市協議会」参画 三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画 三島市健康づくり推進協議会委員派遣 三島市子ども・子育て会議委員派遣 三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣 三島警察署協議会委員派遣 複数高校へ出張し、模擬授業を広報委員（教員）、他教員が分担して担当（高大連携） 沼津高等専門学校教員派遣（高大連携） 地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出 学校見学受入れ（県立伊豆総合高校、市立清水桜が丘高校）

24. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組み中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① B 棟Ⅱ期（低層棟）建設工事

計画通り平成 28 年 4 月に竣工しました。



全景



玄関

② C 棟新築工事

平成 28 年 8 月に竣工しました。



全景



玄関

③ 新研究棟建設

平成 28 年 2 月から着手した 7 号館、8 号館建物の解体工事は、平成 29 年 3 月に完了し、引き続き基礎工事が進行しています。



外観



講堂

⑤ (仮称) 油坂上空通路設置工事

B棟低層棟と大学を結ぶ順天堂の専用通路は、平成28年5月に供用開始しました。



外観



通路

⑥ C棟・D棟連絡通路工事

C棟とD棟を結ぶ順天堂の専用通路は、地下は平成28年8月、地上は平成28年11月に供用開始しました。



外観



通路 (地上)

⑧ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

(2) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下2階の新病棟(3号館)建設工事が進められています。平成29年5月に竣工予定です。



外観



内観

(3) 順天堂東京江東高齢者医療センター

一般病床 56 床の増床許可を得て、平成 27 年 12 月に改修工事を着手し、平成 28 年 12 月に竣工し、運用開始しました。



食堂



病室

(4) 練馬病院

地域医療の充実を目的に、病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画を進めています。

(5) さくらキャンパス

① 女子学生寮

平成 29 年 2 月に竣工しました。



外観



寮室

② 体操競技場 (OGAWA GYMNASTICS ARENA)

平成 29 年 3 月に竣工しました。



外観



内観

25. 平成 28 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生納付金収入	7,452	7,408	44
手数料収入	485	472	13
寄付金収入	2,241	1,948	293
補助金収入	7,388	7,347	41
資産売却収入	4,093	3,633	460
付随事業・収益事業収入	2,692	3,023	△ 331
医療収入	136,464	135,270	1,194
受取利息・配当金収入	170	233	△ 63
雑収入	1,858	2,223	△ 364
借入金等収入	1,400	1,330	70
前受金収入	1,907	2,026	△ 119
その他の収入	26,123	26,367	△ 244
資金収入調整勘定	△ 26,383	△ 26,241	△ 142
当年度資金収入合計	165,890	165,038	852
前年度繰越支払資金	23,240	23,240	0
収入の部合計	189,130	188,278	852

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 9 億円下回りました。

主な要因としては

- ① 高額薬品の薬価引下げなどにより医療収入が当初の見込みを下回ったこと。
 - ② 有価証券の取崩を当初の予定額より抑えたこと。
- があげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	55,638	55,582	56
教育研究経費支出	22,189	22,876	△ 687
医療経費支出	53,818	54,104	△ 286
管理経費支出	4,666	4,379	288
借入金等利息支出	9	8	1
借入金等返済支出	1,731	1,731	0
施設関係支出	18,287	13,818	4,469
設備関係支出	13,191	10,938	2,253
資産運用支出	600	755	△ 155
その他の支出	11,108	11,253	△ 146
予備費	2,136	0	2,136
資金支出調整勘定	△ 10,576	△ 10,933	357
当年度資金支出合計	172,796	164,511	8,285
次年度繰越支払資金	16,335	23,767 ※1	△ 7,433
支出の部合計	189,130	188,278	852

資金支出は、予算と比較し約 83 億円下回りました。主な要因としては、

- ① 当年度支払予定の再編事業関連工事や設備投資のうち一部の事業が翌年度に繰り越しとなったこと。
 - ② 予備的に計上していた予算を使用しなかったこと。
- があげられます。

再編事業を全て自己資金で実施していますが、準備していた引当資産や有価証券を取崩して充当しているため、当年度資金収支差額は差引約 5 億円※2のプラスとなり、次年度繰越支払資金は約 238 億円※1となりました。

当年度資金収支差額	△ 6,906	527 ※2	△ 7,433
-----------	---------	--------	---------

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科目	H28年度決算	H27年度決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生納付金	7,408	7,269	139
		手数料	472	450	22
		寄付金	1,943	2,353	△ 410
		経常費等補助金	6,687	7,182	△ 495
		付随事業収入・収益事業収入	3,023	2,751	272
		医療収入	135,270	134,172	1,098
		雑収入	2,241	2,281	△ 39
		教育活動収入 計	157,044	156,458	586
	事業活動支出の部	人件費	56,603	55,320	1,284
		(退職給与引当金繰入額)	(2,751)	(2,656)	(95)
		教育研究経費	32,254	29,522	2,732
		(減価償却額)	(9,379)	(8,076)	(1,303)
		医療経費	54,021	54,252	△ 231
		管理経費	4,873	4,815	58
(減価償却額)		(511)	(480)	(31)	
徴収不能額等		170	104	67	
教育活動支出 計	147,922	144,013	3,909		
教育活動収支差額			9,121	12,445	△ 3,323
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金収入	233	264	△ 31
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入 計	233	264	△ 31
	支出の活動	借入金等利息	8	28	△ 19
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出 計	8	28	△ 19
教育活動外収支差額			224	236	△ 12
経常収支差額			9,346	12,681	△ 3,335
特別収支	収入の活動	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	787	842	△ 55
		特別収入 計	787	842	△ 55
	支出の活動	資産処分差額	1,368	1,285	82
		その他の特別支出	41	5	36
		特別支出 計	1,408	1,290	118
特別収支差額			△ 621	△ 448	△ 174
予備費			0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			8,725	12,233	△ 3,509
基本金組入額合計			△ 17,476	△ 18,986	1,510
当年度収支差額			△ 8,751	△ 6,752	△ 1,999
前年度繰越収支差額			△ 43,557	△ 36,805	△ 6,752
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 52,308	△ 43,557	△ 8,751
(参考)					
事業活動収入 計			158,064	157,564	500
事業活動支出 計			149,339	145,331	4,009

教育活動収入は約 1,570 億円となり、前年度と比較すると約 6 億円増加しました。主な要因としては、附属病院において増床及び診療体制を充実させて高度な医療を提供したことにより、医療収入が増加したことがあげられます。

教育活動支出は約 1,479 億円となり、前年度と比較すると約 39 億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 再編事業実施に伴う建物の取壊しなど一時的な費用の増加及び新病棟竣工に伴う減価償却費の増加です。
- ② 診療体制の更なる充実のため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加です。

経常的な収支を表す経常収支差額は約 93 億円となり、前年度と比較すると約 33 億円減少しています。

従来の帰属収支差額にあたる基本金組入前当年度収支差額は約 87 億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	H28年度決算	H27年度決算	増 減
固 定 資 産	186,433	175,659	10,774
有形固定資産	167,507	153,695	13,812
土地	53,070	50,615	2,455
建物	71,816	62,026	9,790
その他の有形固定資産	42,621	41,055	1,566
特定資産	11,546	11,576	△30
その他の固定資産	7,380	10,388	△3,008
流 動 資 産	95,617	97,108	△1,491
現金預金	23,767	23,240	527
その他の流動資産	71,849	73,868	△2,019
資 産 の 部 合 計	282,049	272,767	9,282

固定資産のうち有形固定資産は、再編事業の実施に伴う建替え工事、増床工事等の竣工により増加しました。
その他の固定資産及び流動資産のうち有価証券は、再編事業関連工事の支払いに充当するため取崩しを行ったことにより減少しました。

総資産は、前年度より約 93 億円増加して約 2,820 億円となりました。

(負債の部)

科 目	H28年度決算	H27年度決算	増 減
固 定 負 債	30,474	28,173	2,301
長期借入金	21	85	△64
学校債	5,780	4,500	1,280
その他の固定負債	24,674	23,588	1,085
流 動 負 債	14,769	16,512	△1,743
短期借入金	64	271	△206
短期学校債	0	1,410	△1,410
その他の流動負債	14,704	14,831	△127
負 債 の 部 合 計	45,243	44,685	558

負債は、約 452 億円と前年度対比で約 6 億円の増加となりました。
主な要因は、その他の固定負債のうち退職給与引当金が増加したことによりです。

(純資産の部)

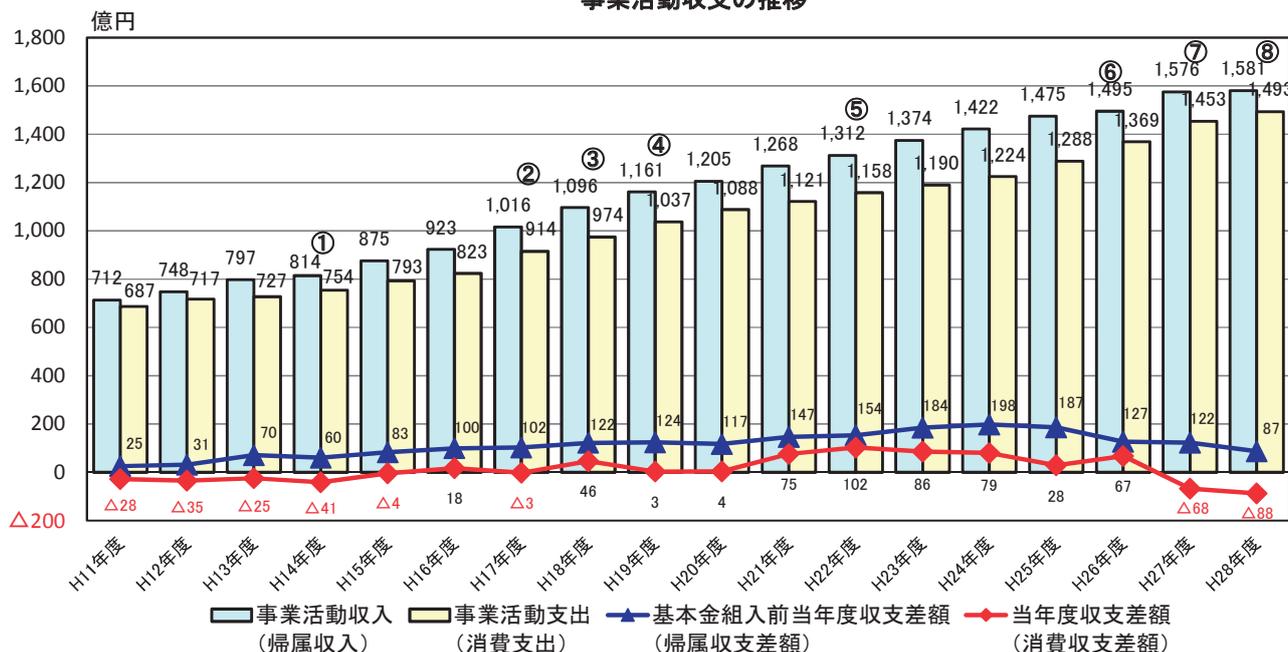
科 目	H28年度決算	H27年度決算	増 減
基本金	289,115	271,639	17,476
第1号基本金	276,773	259,538	17,235
第2号基本金	1,306	1,756	△450
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	11,036	10,345	691
繰越収支差額	△52,308	△43,557	△8,751
翌年度繰越収支差額	△52,308	△43,557	△8,751
純資産の部合計	236,806	228,082	8,725
負債及び純資産の部合計	282,049	272,767	9,282

基本金は、固定資産取得等により約 175 億円増加して、約 2,891 億円となりました。

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額分の約 87 億円増加して、約 2,368 億円となりました。

26. 財務状況の推移

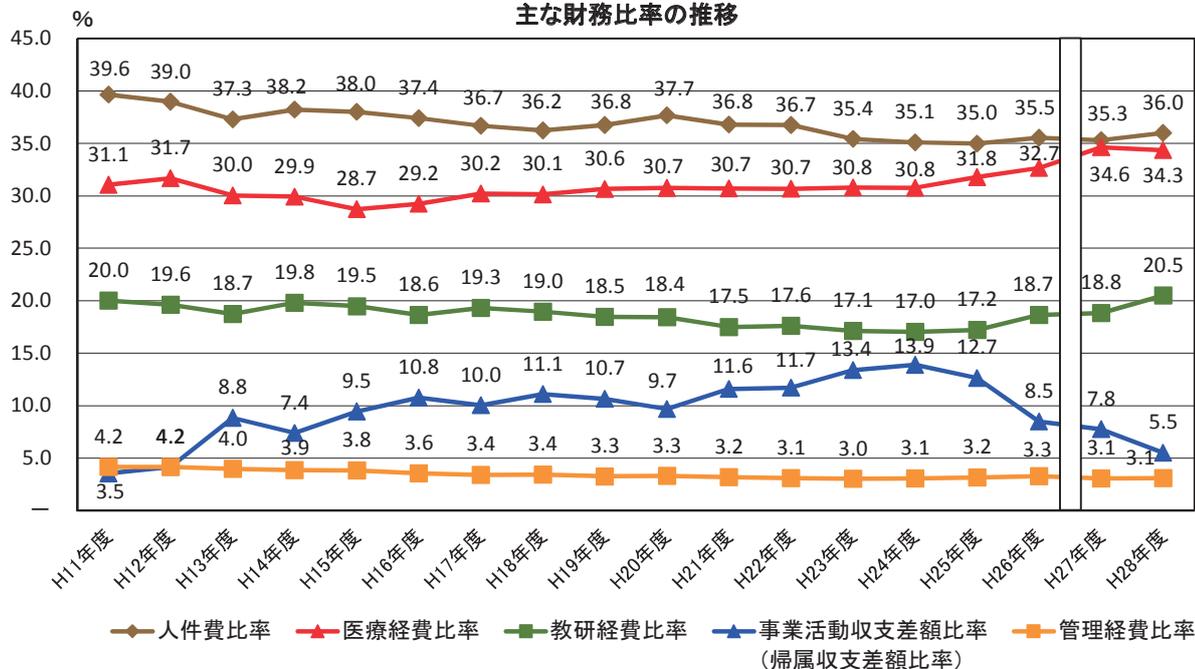
事業活動収支の推移



教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

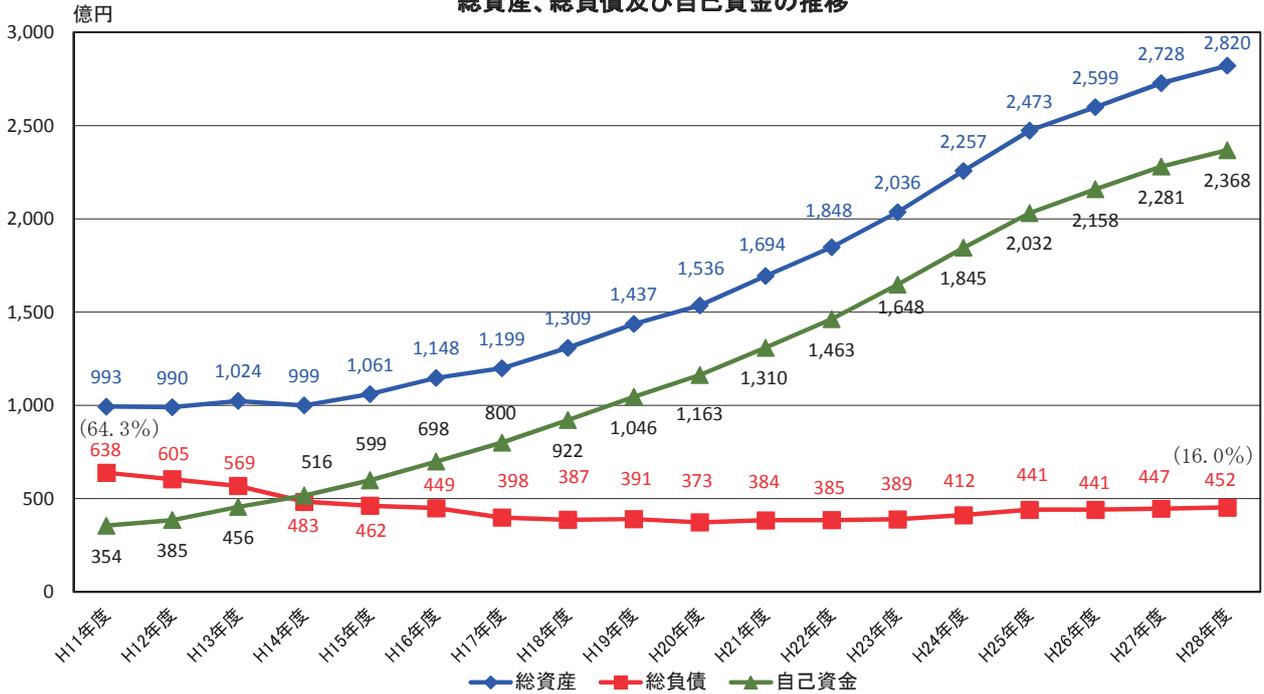
①平成 14 年度順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成 17 年度練馬病院開院、③平成 18 年度静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成 19 年度スポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置、練馬病院 3 号館建設、⑤平成 22 年度静岡県三島市に保健看護学部を開設、⑥平成 25 年度順天堂医院 B 棟 I 期竣工、⑦平成 27 年度本学第 5 番目の学部として国際教養学部を開設、⑧平成 28 年度順天堂医院では B 棟 II 期、C 棟及び D 棟、さくらキャンパスでは新体操競技場、新女子寮、高齢者医療センターでは 56 床の増床工事がそれぞれ竣工しました。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い上記の比率のうち、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入（新基準の事業活動収入）から経常収入に変更されています。平成 28 年度は教研経費比率が増加していますが、全学的な再編事業の推進に伴う施設の取壊し費用の発生及び新病棟、新施設の竣工に伴う減価償却費の増加等が主な要因です。

総資産、総負債及び自己資金の推移

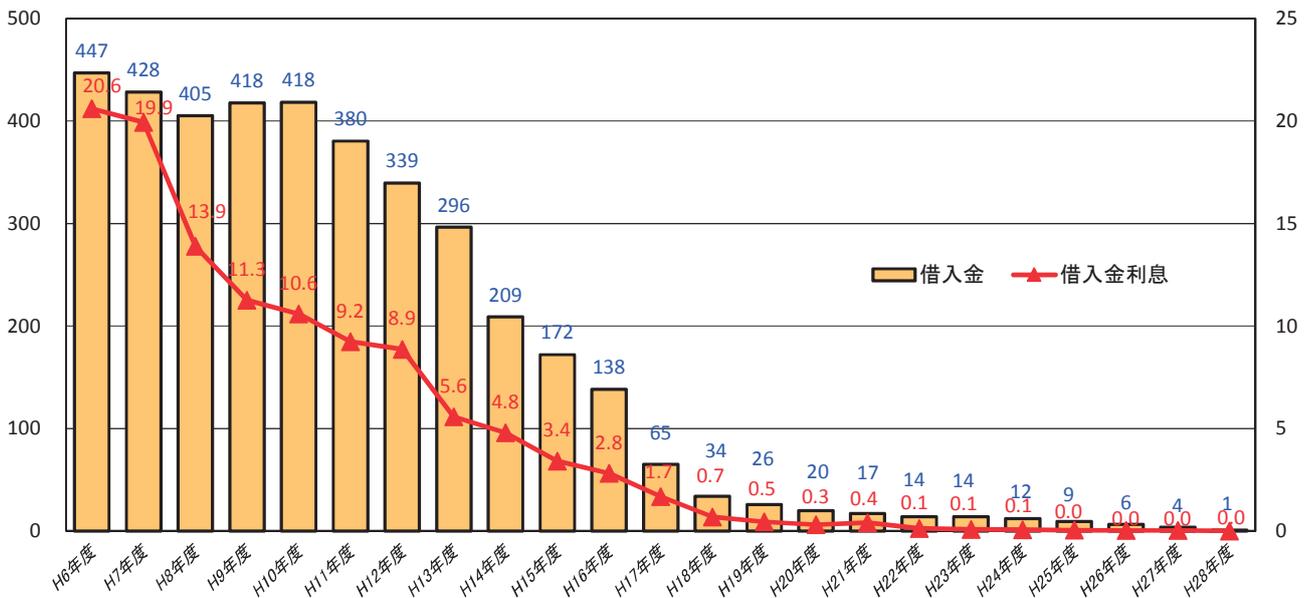


上記のグラフは総資産、総負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで総負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成28年度には16.0%と、大幅に改善しています。

借入金残高
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。平成28年度末の金融機関等からの借入金残高は約1億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838